

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2単位 地域を知る	現代地方自治	堀田 学	2年次	春

授業のキーワード	地方分権、地方自治、協働
授業の概要	身近な行政として地方自治体があります。地方自治体も都道府県と市町村があります。この地方自治体と中央政府との関係、そして地方分権が進むなかでの地方自治体の役割についての理解を深めることを目的とします。
期待される学習成果（目標）	1. 身近な地方自治体のことを勉強することで地域の抱える課題を認識します。 2. 日本の地方自治の変遷と歴史を理解することができます。 3. 今後の地方自治の展望について考える力をつけることができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	地方自治とは何か	授業のオリエンテーションと地方自治についての説明をします。	第9講	地方公務員制度と人事管理	地方公務員制度と人事管理について説明をします。
第2講	住民と住民組織	住民・住民組織と自治体について説明します。	第10講	組織・権限と機構管理	地方自治体の組織・権限について説明します。
第3講	選挙と代表	地方自治における選挙と代表について説明します。	第11講	政策体系と政策過程	地方自治体の政策過程について説明します。
第4講	参加と統制	住民参加について説明します。	第12講	政策設計と政策実施・評価	地方自治体の政策の実施と評価について説明します。
第5講	議会と執行機関	首長と議会の関係など政治機構面での統治システムを説明します。	第13講	政策法務と条例	政策法務について説明します。
第6講	市区町村と都道府県	自治体の区分・構造・再編について説明します。	第14講	「新しい公共」と協働	「新しい公共」と協働について考察していきます。
第7講	自治体と国	中央－地方関係について説明します。	第15講	今後の地方自治の展望	「平成の大合併」、「三位一体改革」の経緯ならびにその展開と道州制について考察していきます。
第8講	地方財政と予算管理	地方財政や自治体の予算について説明します。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法		定期試験（100%）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
柴田直子・松井望編『地方自治論入門』ミネルヴァ書房、2012年			山田 光矢・代田 剛彦『地方自治論』弘文堂、2012年 磯崎初仁編『ホーンブック地方自治(改訂版)』北樹出版、2011年 持田信樹『地方行政論』東京大学出版会、2014年		